

東の風



やさしく
かしこく
たくましく

No. 11

平成29年5月1日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

笑顔であいさつ。。。今年ももらおう宝物!

本校の目指す子ども像の一つに「やさしい子」(明るく思いやりのあるやさしい子)があります。その中には「心のこもったあいさつができる子ども」という項目があります。

始業式で伝えた「頑張ってほしいこと」でも



②心を込めて自分から元気なあいさつ

を挙げています。

本校には、それができている子が沢山います。特にそれが感じられるのは毎朝の登校の時間です。

校門下の国道。朝日に照らされながら子ども達がやってきます。遠くから大きな声で元気いっぱい「おはようございま〜す。」と響くあいさつの声。

近くまで来て、立ち止まって丁寧なお辞儀と共にあいさつする子もいます。子ども達の笑顔と共に届く声。「笑顔」と「あいさつ」が持っている力って素晴らしいなあと思います。昨年度の学校便りでも書きましたが、今年度も毎日、毎朝、子ども達からは朝日に負けなくらい輝いている「素敵な笑顔」と「明るいあいさつ」。そんな素敵な宝物をもらっています。

おはよう こんにちは こんばんは
ありがとう いただきます ごめんなさい
さようなら また明日 いきます
おかえりなさい おやすみなさい・・・

あいさつは魔法の言葉!

「あいさつ」は人と人の関わりの中で、良好なコミュニケーションをつくる第一歩であり、人と人を結ぶ言葉です。



まず自分の心を開き、相手の心を開かせる。相手、他者への敬意の表れであり、大切にしている心の表れです。心を込めたあいさつは、相手を思いやる温かく優しい心と行動に繋がり、相互に心地よい時間を共有できます。

人は様々、子どもは尚更かもしれません。明るく元気なあいさつが自然とできる子もいれば、恥ずかしそうにあいさつする子、あいさつされてからあいさつする子、あいさつされてもあいさつしようとしないう子など、それぞれ子どもによって差があるのも事実です。時にはあいさつをしたくないような気分の時もあるでしょう。ただ一つだけ言えるのは、あいさつをして損をする、マイナスになってしまうことは、まずないでしょう。

「心のこもったあいさつができること」これは、今だけでなく一生の宝物、人生のお守りになると思います。

「させられるあいさつ」ではなく、自然と相手を思いやり、自分の心を素直に開いて

この二人もあいさつがとても上手ですよ。

「いつでも、どこでも、誰にでも、進んであいさつ、自分から!」が

実践できる子ども達であってほしいと思いながら指導しています。そうすれば、この写真のように素敵なコミュニケーションがとれるのではないのでしょうか?

いかがでしょうか? ご家庭や職場等でもあいさつが交わされていますか? 私たち大人がお手本を示したいものですね。

